

長崎県地学会誌

第 41 号

1984

目 次

研究報告

- オウムガイ自生海域の生態調査
 ——フィリピン中部海域——……………早坂 祥三……1
- 長崎変成岩類の放射年代とその帰属……………服部 仁……11

日曜地質巡検会記事

- 大村市鈴田地域の古第三紀層……………山口修弘・早田常盤・小柳孝夫……26
- 大村市南部祝崎付近の地質……………小柳孝夫・早田常盤・山口修弘……28

追 悼

- 家坂貞男君の逝去を悼む……………日隈 四郎……30

抄 録

- NESA Abstract 037-045 ……………31

長崎県地学会記事

- 長崎県地学会昭和59年度総会・研究発表会……………表紙 2
- 長崎県地学会20年会員表彰受賞者……………表紙 3
- 昭和58年度 一般会計・特別会計決算書……………34
- 昭和58年度 会員移動……………35
-
-

昭和59年10月

長崎県地学会

長崎県地学会昭和59年度総会・研究発表会

日 時：昭和59年6月24日（日）

会 場：長崎大学教養部新々館

総合司会 小田 忠昭（長崎北陽台）・松尾 司（長崎大）

開会のあいさつ……………副会長 石川 直衛

研究発表会（13：00～14：10）

座長 堀口 承明（県教育センター）

田島 俊彦（小江原中）

長崎県北松浦郡宇久島の地質（15分）……………月川 英昭（池島小）

西彼杵変成岩類における蛇紋岩と結晶片岩

の間の反応帯の野外における産状（15分）……………西山 忠男（九州大・理）

芦屋層群の生痕化石（20分）……………白石 成美（口加高）

豪雨防災教育の課題と展望（20分）……………荒生 公雄・扇 要子（長崎大・教育）

休 憩（14：10～14：20）

総 会（14：20～14：50）

議長 山口 修弘（諫早高）・副島 猛俊（西諫早中）

会長あいさつ……………会長 鎌田 泰彦（長崎大・教育）

昭和58年度会務報告……………阪口 和則（長崎高）

58年度決算報告……………近藤 寛（長崎大・教育）

会計監査報告……………浅岡 哲人（長崎市役所）

丸山 稜人（長崎岩屋中）

昭和59年度事業計画案，予算案提出……………鴨川 信行（長崎交大中）

近藤 寛（長崎大・教育）

20年会員表彰

特別講演（14：50～16：30）

「フィリピン及びフィジーにおけるオウムガイ (*Nautilus pompilius* L.)

自生海域の生態環境調査」

鹿児島大学教授 早 坂 三 三 三

閉会のあいさつ……………副会長 西村 進

懇 親 会（17：00～18：30）（於よかところ別館）